



① 房水ピペット (30G x 4mm: ニプロ社)

② 30G針 + シリンジ (上記がない場合)

房水ピペットを用いた前房水採取手順

- 1) インフォームド・コンセントにて同意を得る
- 2) ベットに寝かせて、手袋をして患眼を洗眼 (例) イソジン、生理食塩水)
- 3) ドレープをかける
- 4) 手袋を変えて、顕微鏡セット、ペノキシール^R点眼
- 5) 房水ピペット、清潔綿棒、開瞼器を用意
- 6) 房水ピペットをつまみながら針先を角膜輪部から前房内に挿入させる
- 7) つまんでいる指をゆっくり離す (キャピラリー現象で房水が入ってくる)
- 8) 前房水0.1cc - 0.2cc採取を確認し、房水ピペットを優しく抜く
- 9) 抗生剤点眼、10分程度ベットで休ませる
- 10) スリットで処置眼の前房形成、前房出血など問題ないか確認
- 11) 抗生剤眼軟膏、眼帯で帰宅 (可能ならば翌日、診察)

